

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Laid-Open Utility Model Application S57-111822

Utility Model Application

June 25, 1980

5 [Approved]

Director-General of the JPO

10 1. Title of the Invention: Roll-wound plaster

2. Inventor: Same as Applicant

3. Applicant:

Postal code: 112

Name: Kyounosuke SUDA

15 Address: 5-11-8 Ootsuka

Bunkyo-ku, Tokyo-to

[Name stamp]

Specification

20

1. Title of the Invention: Roll-wound
plaster

2. Claim:

25 A roll-wound plaster, constituted by causing a
plaster rear face to bond to a surface of a tape strip
constituting a base with a weak adhesive strength
afforded by adhesive strength of the medicinal part
of the plaster, and then winding the [plaster-bonded
tape strip] as a roll.

30

Laid-open No.



Utility Model Application
実用新案登録願

昭和55 適 月25日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} ロール巻きこう薬 ^マ

2. 考案者

^{フリガナ}
住所(居所)

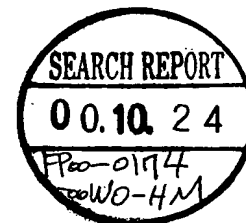
(実用新案登録出願人に同じ)

^{フリガナ}
氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

112 □□

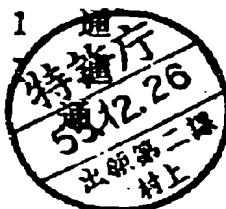
^{フリガナ}
住所(居所) ^{ブンキョウクオオツカ} 東京都文京区大塚 5-11-8^{フリガナ}
氏名(法人にあっては名称) ^ス 須 ^タ 田 ^{キョウ} 京 ^ノ 之 ^{スケ} 助

4. 添付書類の目録

- ✓ (1) 明細書
✓ (2) 図面
(3) 願書副本
(4) (

1 通

1 通



157

方式
審査

111822

✓ 55 187062

明 細 書

1. 考 案 の 名 称 ロール巻きこう薬

2. 実用新案登録請求の範囲

こう薬の患部接着力より、弱い接着力で、土台となるテープ片面に、こう薬裏面を接着させたものを、ロール巻きに構成した、ロール巻きこう薬。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

本考案は、肩こり腰痛等の治療に使う、こう薬に関するものである。

従来こう薬は、一枚一枚手で剥して、患部に貼るが、粘着性のあるこう薬は、仲々剥しにくく、指先に接着したり、丸まって仕舞ったりすることが多い。また旨く剥しても、患部にこう薬を配置するまでに、接着面同士が貼り付き、形態を損じることも多く、人手を患すことも、しばしばである。

本考案は、これらの不便を解消するためのもので、これを図面について説明すれば、本考案は一見巻きテープのような形態（第1図）をしているが、これは土台となるテープ表面(5)に、こう薬裏

面(4)を貼り付けたものを、芯(1)に巻き取つたもので、従来の一枚一枚手で剝して貼るのと違い、引出したテープ上に、次々ところ薬面が出て来て、そのまま、剝すことなく、患部に貼れるよう工夫されたものである。

本考案はその構成上、テープところ薬との関係で三つの接着面が生じ、それぞれの接着力に差違をつける必要があり、これを接着力の弱い順番にあげると、次の通りになる。

1. テープ裏面(6)ところ薬表面(3)との接着力。
2. テープ表面(5)ところ薬裏面(4)との接着力。
3. ところ薬表面(3)と患部(7)との接着力。

以上の如く構成されているので、これを使用するときは、第2図のように、ロール巻きテープの一端を引出し、ところ薬表面(3)が現れたところで、直に患部に接着させることで、テープに貼り付いているところ薬裏面(4)は接着力が弱いので、第3図の如くテープから離れて、ところ薬は患部に定着することになる。

したがって本考案を使用すれば、ところ薬部に手

を触れることなく貼れるので、こう薬のねじれ、しわ等形態を損うことなく貼ることが出来、土台より剥す手間も省け、一人で貼れなかつた場所にも、きれいに貼れるので、すでにこの種こう薬を愛用している老人等にとつても、便利な考案である。

尚ロール状態の中にこう薬が構成されているので、こう薬は完全に密封された状態に置かれて薬効を損じることはない。

4. 図面の簡単な説明

本図面は本考案の一実施例を示すものである。

第1図は本考案の斜視図。

第2図は本考案のテープとこう薬の接着状態を示す説明図。

第3図は本考案の一使用状態を示す説明図。

第4図はテープとこう薬の構成を示す側面図。

第5図はテープとこう薬の構成を示す平面図。

(1)：芯 (2)：こう薬 (3)：こう薬表面

(4)：こう薬裏面 (5)：テープ表面 (6)：テープ

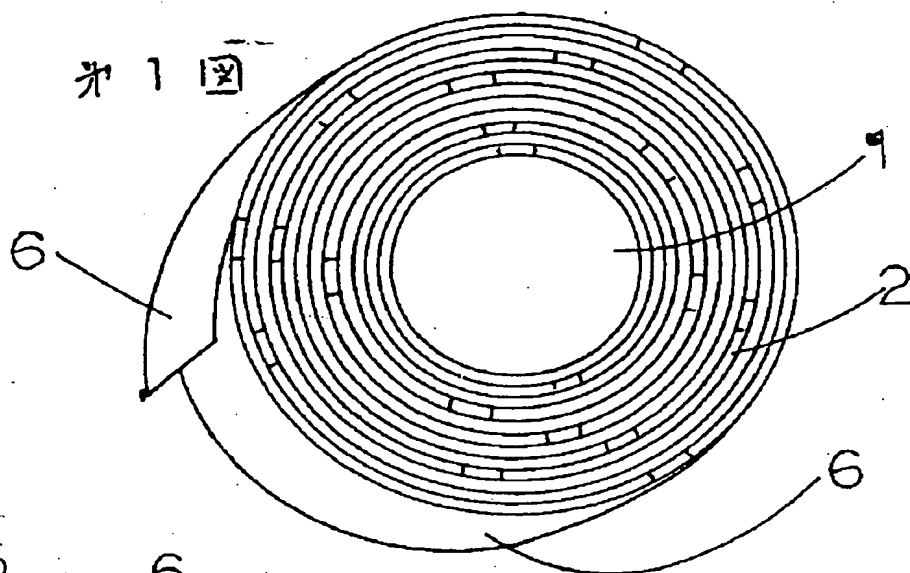
裏面 (7)：患部

実用新案登録出願人 須田京之助

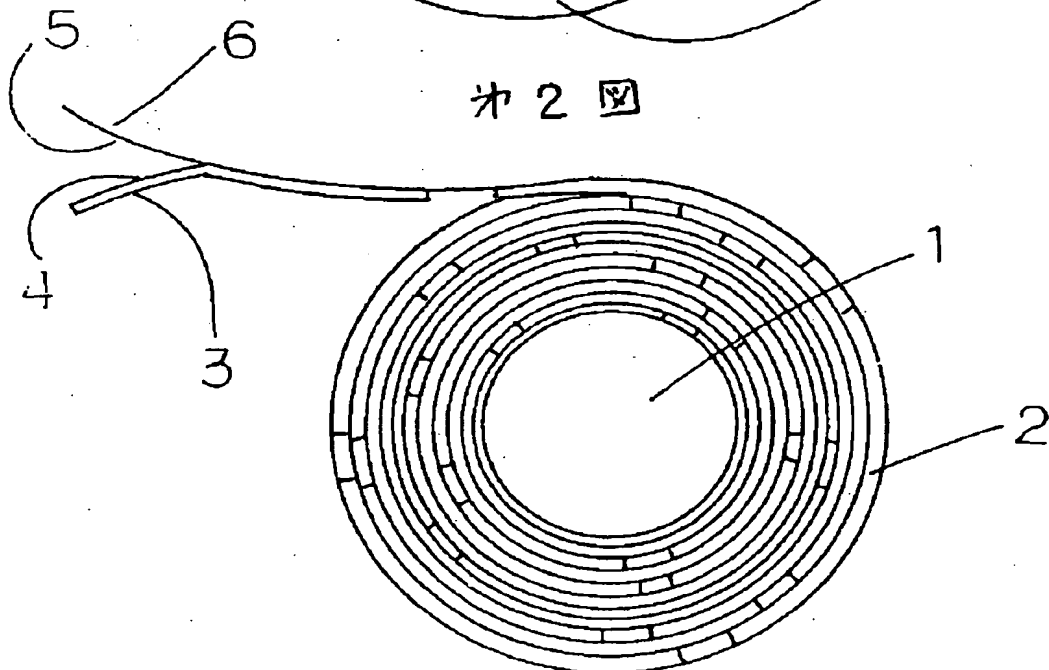
図

面

第1図

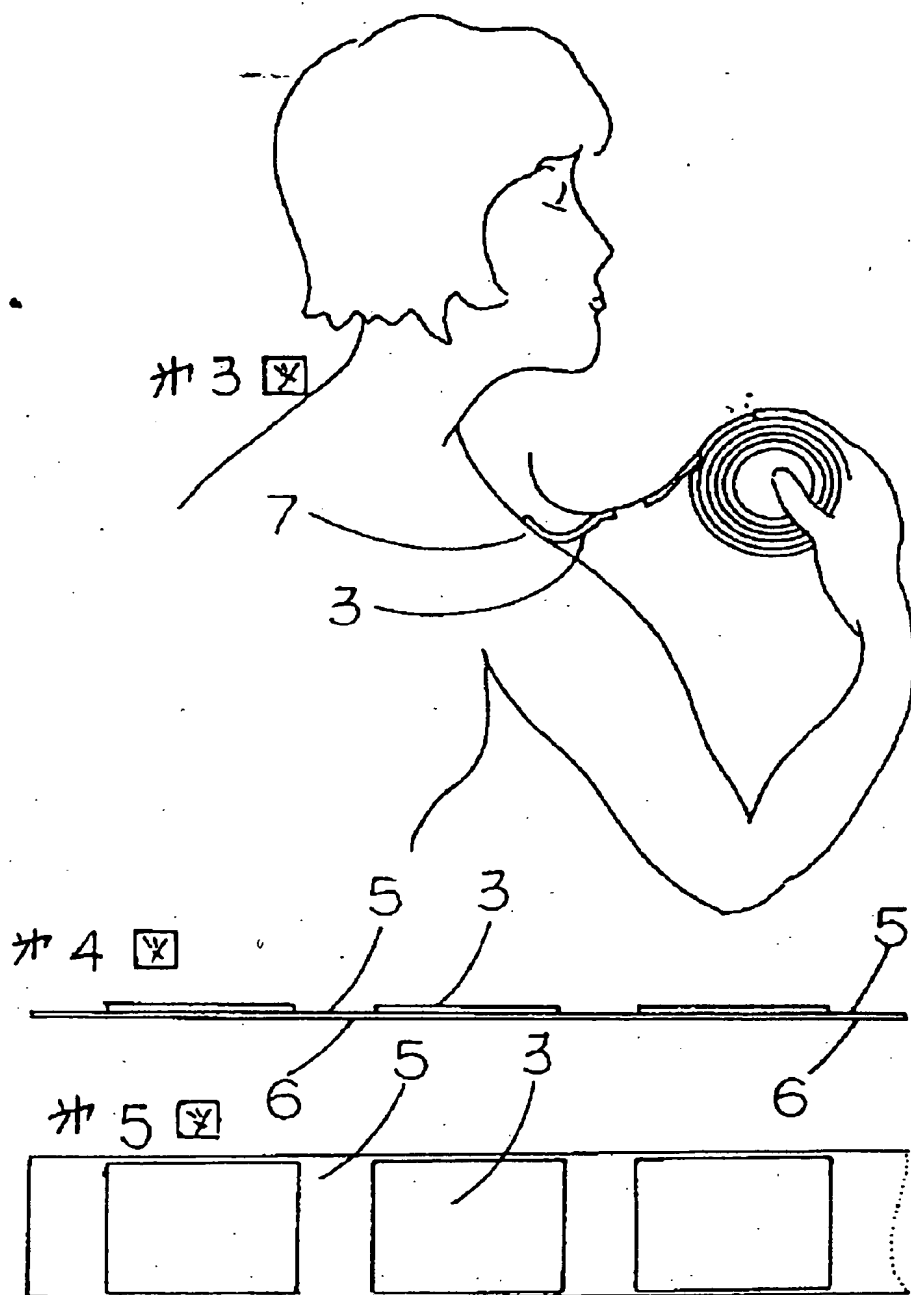


第2図



実用新案登録出願人 須田京之助

面 図



実用新案登録出願人 須田京之助